

# わたしたちの手でしあわせをひとつに 第67集

## デフアスリートの思い (インタビュー)



やかべ あやか  
**矢ヶ部 紋可さん**

かぶしがいしゃ  
(株式会社ゼンリンデータコム)

だい かい か き だい 24回夏季デフリンピック バドミントン こんごう たい せん ぎ ん こんごう たい せん ぎ ん  
第24回夏季デフリンピック バドミントン混合団体戦銀メダル、女子ダブルスベスト4

### バドミントンを 始めたきっかけ

小学校1年生のときに、きこえない人のバドミントンクラブができて、参加したことがきっかけです。ろう(生まれ時から、または幼児期からきこえない人。主に手話を使用する人が多い)の先輩でデフリンピックに出場する方がいて、いつか自分もデフリンピックに出場したいと意識するようになりまし

### 環境の変化

今年(2024年)就職して、県外で生活しています。大学生のときは、練習時間の確保、体力面、指導者が少ないこの3つが課題でした。

今は15時までの勤務なので練習時間の確保ができています。勤務後、すこし休んで夕方からの練習に向かうことができるので、気持ちにゆとりができました。また、コーチに指導してもらえることで自分の技術の向上につながっています。今の環境はとても充実しています。

### 日本代表になって 変わったこと

高校2年生から日本代表に選ばれるようになりました。日本代表になってすぐにアジア大会があり出場しましたが、そのとき全試合負けてしまったんです。それが今まで一番悔しかった出来事です。しっかりがんばりたい、リベンジしたいと思ったその経験が、意識が変わったときだと思っています。

### 海外へ行って感じた 日本とのちがい

前回のデフリンピック(ブラジル大会)に出場したとき、ブラジルの方たちは、障がいがあることをプラスにとらえているように見えました。堂々とされていて障がいがあるように見えません。日本では、自分たちは障がいがあるからと、すこし遠慮がちになる場面が多い気がします。

### デフバドミントンの 情報保障について

審判には手話通訳が横について通訳しています。また、ジェスチャーで審判が伝えてくれることもあります。手話ができる審判の方も半数くらいいます。試合のときは補聴器をはずして行うというルールがあり、練習の時から補聴器をはずしてプレーしています。

反応がすこし遅れるので、ダブルスの時はペアの人とよくコミュニケーションをとるように気を付けています。また、視野を広げてよく見るようにしていて、視野を広げるためのビジョントレーニングを行っています。きこえない人はよく目を使うので視野を広げることが大事です。

### お互いを知ろうとする 気持ちを大切に

いま、手話を使う人が増えてきているなど感じています。先日デフバドミントンの大会があったときに、審判の方はきこえる方でしたが、手話を使ってくださいました。また、飲食店に行った時も、お店

の方が手話で「ありがとう」と言ってくれました。相手が歩み寄ってくれるということがうれしいです。

これからデフリンピックに向けて、もっと手話が広まって、障がいのありなしにかかわらずお互いが積極的にコミュニケーションをとろうとする気持ちを持てるようになるといいなと思います。

### よ 読んでいる方へ

関東に引越して、新しく知り合った方たちと話すときに、出身はどこ?と聞かれて「太宰府です」と答えると、「知ってる!」「いいところだよね!」とたくさん言われます。太宰府市出身であることを誇りに思って、これからも練習に励んで、みなさんに良い結果を報告できるようにしたいと思っています。

### おまけ

太宰府のことで食べ物の話題も盛り上がりです。太宰府の食べ物で有名なのは梅ヶ枝餅や梅の美ひじきですね。あと、福岡の食べ物では時々うまかつちゃんを食べたくなります。関東では販売していないので、実家から送ってもらっています。



## バドミントンを 始めたきっかけ

あね や か べ あやか  
姉(矢ケ部 綾可さん)がバドミントンのクラブに参加していたことがきっかけで、5歳から始めました。日本代表に選ばれるようになったのは中学校2年生からです。



## デフリンピックの 情報保障について

バドミントンに限らないのですが、コートや場所など試合の内容変更が急にあったとき、慌てる場合があります。時間通りにコートにいないと失格になってしまいます。名前とコートが表示される電光掲示板もありますが、みんなアナウンスが聞こえないので、急な変更には気づかないこともあります。いつも報告と連絡はしっかりするようにとされています。試合の順番については、前の人たちが「あと何番目で呼ばれるよ」、と教えてくれるので助かっています。

## デフリンピックへの思い

ぜんかい たいかい い かん  
前回のブラジル大会へ行って感じたのは、デフリンピックの注目度がとても高かったことです。ブラジルではデフリンピックの観客席は満席で、小さい子からご年配の方まで幅広い年齢層の

かたがた おうえん にほん  
方々が応援してくれました。日本でもデフリンピックが注目されるといいなと思います。

ぜんかい たいかい しんがた  
前回の大会では、新型コロナウイルス感染症の影響で、日本選手団が全競技で会期中に辞退するという形になりました。最後まで戦いきれなかったという悔しさがあるので、2025年のデフリンピック東京大会では個人でも団体でも金メダルをとりたいという目標があります。

## 日常の情報保障について

いま いぜん よりも しゅわ など たい  
今は以前よりも手話などに対する理解が進んでいてすごしやすいです。でもまだ情報保障がないところや、緊急事態になったときに100パーセントの情報提供が得られるわけではありません。困っていることを理解してもらえようように自分たちから伝えていく必要があるなと思います。

たとえば、困ったら電話してください、と電話番号を渡されても電話できないのになあと思うことなど、よくあります。きこえない人で文章を書くのが苦手な人はメールが苦手なこともあります。一番いいのはビデオチャットで手話を使って話すとか、電話リレーサービスがいいと思います。私も利用しますがとても助かります。

でんわ  
電話リレーサービスは、きこえない人とときこえる人との電話での会話を、オペレーターが通訳してくれるサービスです。空港には電話リレーサービスの電話ボックスが設置されていて、羽田空港や福岡空港にもあります。

## 大学での情報保障

だいがく じょうほうほしょう  
「YY文字起こし」や「UDトーク」というアプリがあります。先生にマイクをつけてもらって話す言葉が文字に変換

されるもので、タブレットは学校が貸し出してくれます。また、間違っただけで変換されたものを修正してくれる学生のアルバイトの方がいます。紙に授業の要約をしてもらってポイントテイクという方法もあり、授業の内容によってお願いする方法を選ぶようになってい

ます。コロナ禍で、オンラインで字幕付きで勉強できるようなネット環境やアプリなど状況がよくなり、大学に進学する人や一般の会社へ就職する人が増えました。UDトークができたことは大きいです。UDトークには漢字の読みがなが書かれていますので便利です。

## たくさんの人に 支えられている

だいがくそつぎょうご しょうがっこう せんせい  
大学卒業後は小学校の先生になりました。きこえない子どもを持つ家族にかかわる教育相談などもできたいいなと思っています。今は福岡高等聴覚特別支援学校でバドミントン部の指導をしています。バドミントンの指導もですが、マナーや団体意識を育てるといふ面での指導が多いです。自分自身、高校を卒業してから、たくさんの方々に助けられていたことに気づけたので、高校生にもたくさんの方に支えられていることを伝えてい

## よ 読んでいる方へ

みんながすごしやすい社会にしているためには、お互いが思いや考えを伝えあうことが大事だと思います。お互いが協力し合える社会をつくれるように、私も今できることを精一杯がんばりたいです。

## サッカーを 始めたきっかけ

兄がサッカーをやっていたので、3歳のときに同じクラブの幼児クラスに入ったことがきっかけです。小学校4年生から日本代表に呼ばれるようになって、5年生の時に父が女子デフサッカー日本代表の監督になり、監督と選手という関係になったこともあって、自然とデフリンピックを意識するようになりました。

## デフサッカー選手を 増やしたい

九州にはデフサッカーの女子選手がひとりしかいなかったのですが、九州にもデフサッカーの選手を増やしたい、開拓したいという気持ちがありました。また、大学では実家のある関東から離れてみようと思っていたことに加え、経営学部で学べることから日本経済大学への進学を決めました。大学では、朝6時に起きて7時前には練習が始まります。8時半に練習が終わって朝ごはんを食べて、9時から学校です。夕方は男子サッカーの練習があるので、女子サッカーは夕方に練習する時間というのはありません。寮のごはんは美味しく、栄養面もとてもいいです。カロリーやたんぱく質、野菜の量などしっかり管理されているのでスポーツをする人にとってはとてもいい環境です。たまには焼肉やお寿司など好きなものを食べに行っています。

## デフサッカーについて

デフサッカーのルールはきこえる人のサッカーとほぼ同じですが、主審が笛の代わりに旗で合図を出します。試合中、アイコンタクトはとても大事です。アイコンタクトをとりながらボールを持っている人の判断に合わせます。

デフリンピック東京大会では金メダルをとりたいです！

## 海外へ行って感じた 日本とのちがい

海外では、社会として手話通訳をつけるのが当たり前になっていることが多いです。日本では、情報保障として手話通訳を自分たちで準備しなければいけないことが多いです。

## きこえる人と きこえない人を つなぐかけ橋に

きこえる人ときこえない人をつなぐかけ橋になってほしいということを幼いころから父に言われていて、それがずっと心にあります。私の家族は全員きこえない家族(デフファミリー)ですが、私はきこえる人たちの通う学校へ入学して、家族の中でも私だけが話せるという環境です。きこえる人たちの中に入っていき経験ができていくからこそ伝えられることがあると思っています。

デフファミリーはきこえる人たちとの関わりが少なく、学校も、ろう学校へ通う人がほとんどです。きこえる人の学校へ入学しても、情報保障がないなどの理由であきらめて、ろう学校へもどることはよくあります。将来は、そういう人たちのサポートをする会社ができたらいいなと思っています。きこえる人ときこえない人をつなぐことをしたいです。

## デフスポーツを 発信したい

今後、デフスポーツのイベントや講演などをやりたいです。私が子どものとき、パラアスリートの方が学校に来られて実際に走る姿を見たことで、障がいがあってもこんながんばれるんだ、カッコいい！と、とても感動した経験があります。私もデフスポーツを体験してもらうなど、子どもたちに発信ができればいいなと思っています。

## よ 読んでいる方へ

まずはデフスポーツを知ってほしいです。そしてデフアスリート個人についてもぜひ興味をもっていただきたいです。いろんな選手を知って応援してもらえると嬉しいです。

## おまけ

手話には方言があって、東京の手話と福岡の手話では全然違う表現があります。「はい」という表現や「うどん」という表現など、まったく形が違います。福岡のみんなとはなしていると、手話が違うので半分くらいわからないときもあります。



## インタビューに

### 同席して感じたこと

インタビューに同席する中で、海外では当たり前前に手話通訳がつくという話がありましたが、日本では自分でお願いしないと手話通訳などをつけれない場面が多いので、日本はまだまだ情報保障に関して努力すべき部分があるなと感じます。

手話は言語だということを広め続けて、使えるところでは手話通訳をぜひどんどん使ってほしいなと思います。そのためには手話通訳などを本人の負担ではなく当たり前前に用意されているような社会になってほしいですね。



## 手話通訳者になった

### きっかけ

私はきこえない両親のもとで育ったコーダ（CODA「Children of Deaf Adults」の略。きこえないまたはきこえにくい親がいる、きこえる子どもたちのごと）です。

子どものころから両親に通訳することが当たりまえとっていて、多くのサポートをしてきました。コーダがみなそういう状況というわけではないのですが、私自身は今でいうヤングケアラー（本来大人がになると想定されている、責任や負担が重い家事や家族の世話を日常的に行っていることも・若者のこと）だったと思います。

親元を離れて自分が親になってみて、親の大変さも分かるようになりました。そういうことを積み重ねて、自分にできることは何かと思ったときに、手話通訳かなと思ったんです。子どもが幼稚園に入ったころに講座を受講して、そのあと資格をとりました。だざいふ手話の会からの推薦でお話 came たのをきっかけに太宰府市役所に勤めるようになりました。

## デフリンピックとの

### かわり

デフリンピックのボランティア募集があれば、ぜひ参加したいと思っています。現在、デフバドミントンのナショナルチームの合宿が福岡で開催される時に、手話通訳として参加しています。今回のデフリンピックは日本で開催されますし、第1回のデフリンピックが開催されてから100年目（第25回）という記念の大会でもあるので、何らかの形で関わりたいです。

## 手話通訳者としての思い

手話はずいぶん認知されてきたと思います。太宰府市は観光の方もたくさん来られる場所でもあるので、英語や中国語、韓国語などの通訳ボランティアがいらっしゃるように、手話言語の通訳もあるといいですね。また、きこえない人たちが来られるときに、手話通訳をここに頼んだら派遣してもらえるなどの方法をお店の方が知っておくだけでもいいと思います。

私が手話通訳者として市役所にいることで、きこえない・きこえにくいことで生活に支障が出ている人たちに對して、何らかのつなぐ役割ができればいいなと思っています。

太宰府市役所の福祉課にいますので、手話のことなど、ききたいことがあるときは気軽に声をかけください。



デフアスリートのみなさんの思いを知って、もっとデフリンピックが楽しみになってきたね！  
みんなで応援しよう！